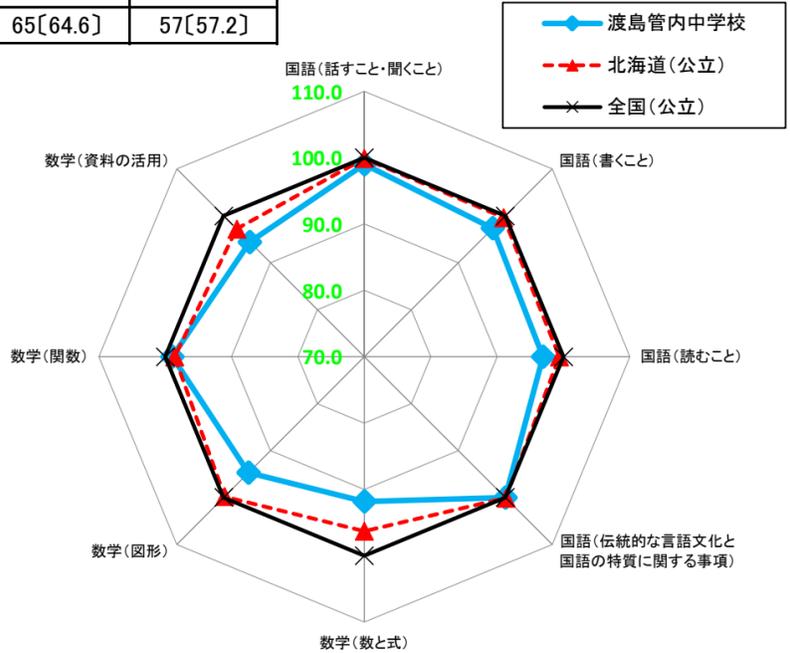
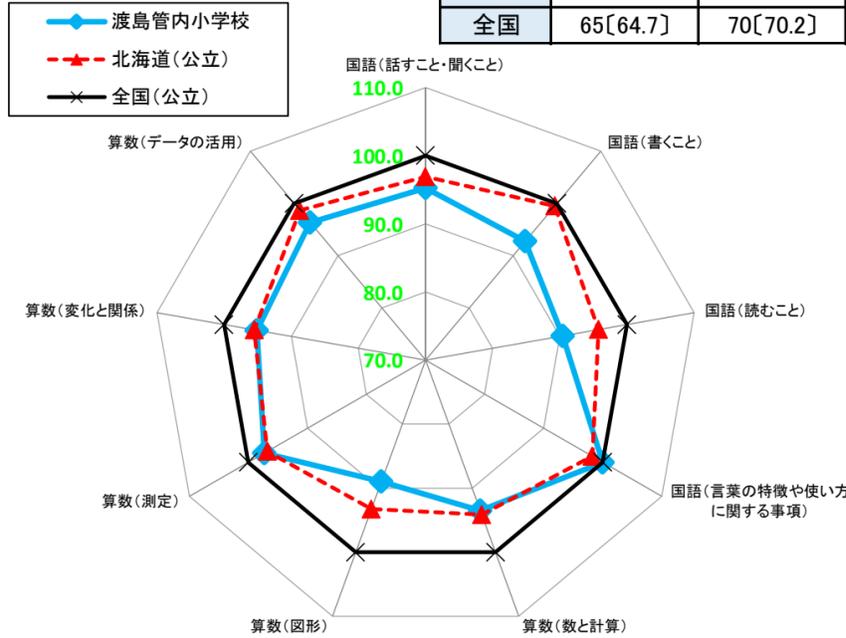


# 渡島の状況及び学力向上策 (小学校数: 80校、児童数: 2478人) (中学校数: 41校、生徒数: 2456人)

## 小学校 【教科全体の状況】

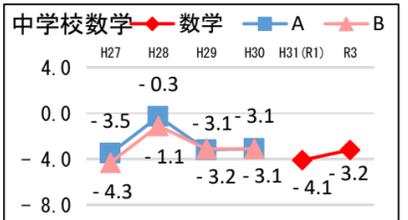
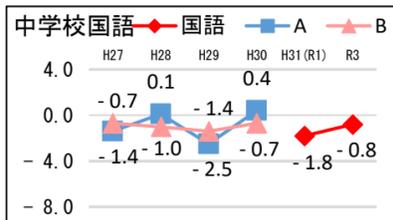
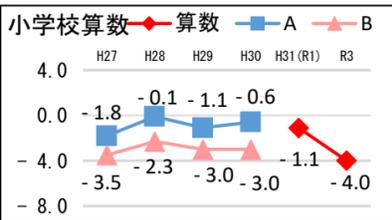
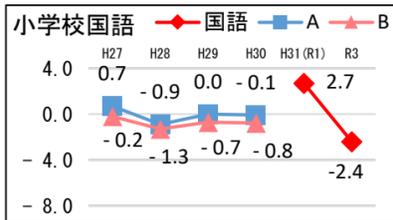
平均正答率	小学校国語	小学校算数	中学校国語	中学校数学
渡島	62[62.3]	66[66.2]	64[63.8]	54[54.0]
全国	65[64.7]	70[70.2]	65[64.6]	57[57.2]

## 中学校



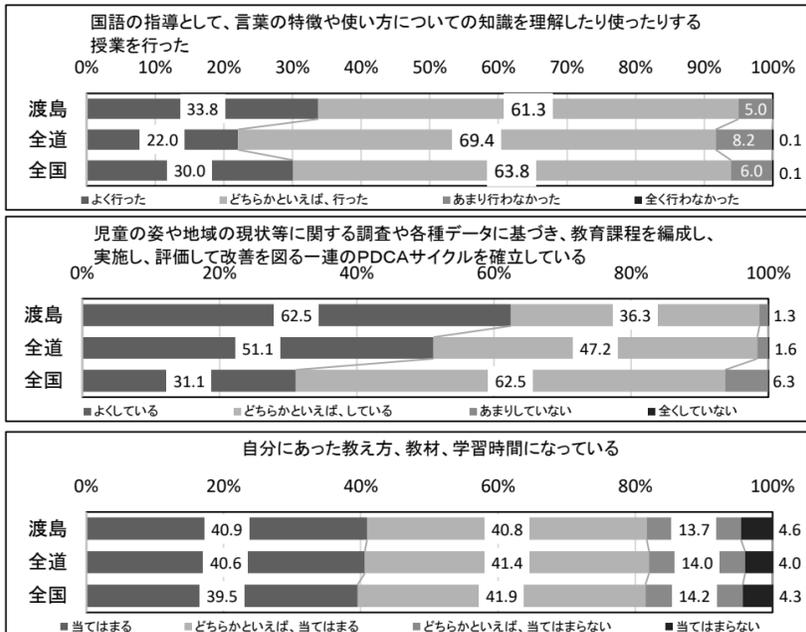
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況をレーダーチャートで示したもの (管内の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

【平均正答率の推移】 「管内の平均正答率－全国(公立)の平均正答率」の経年変化

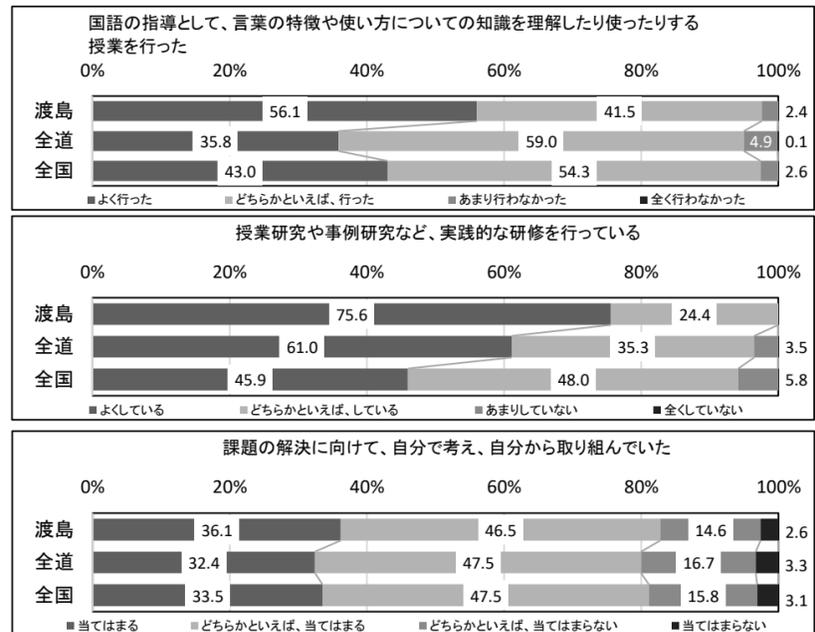


## 【質問紙の状況】

### 小学校



### 中学校



## 【上記結果の考えられる要因の分析】

### 小学校

管内の多くの小学校において、国語の指導として、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりする授業をよく行ったことにより、「言葉の特徴や使い方に関する事項」で全国と同様の平均正答率になったと考えられる。

渡島管内教育の充実に向けた「5つの行動指標」において、「そろえる(カリキュラム・マネジメントの定着)」を重点項目として設定したことにより、児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していると回答した学校の割合及び、自分にあった教え方、教材、学習時間になっていると回答した児童の割合が全国を上回ったと考えられる。

### 中学校

管内の多くの中学校において、国語の指導として、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりする授業をよく行ったことにより、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国と同様の平均正答率になったと考えられる。

経験年数の少ない教員等を対象とし、個々の授業力の向上を目的とした局独自事業「授業改善プロジェクト」を実施したことにより、授業研究や事例研究など、実践的な研修を行っているという回答した学校の割合及び、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと回答した生徒の割合が全国を上回ったと考えられる。

【渡島の学力向上策】 については、次ページの学力向上の取組を参照ください。

# 渡島管内における学力向上の取組

## 1. 管内課題と重点的な改善策

### (1) 「5つの行動指標」の設定及び重点化

■教育の質の向上に向け、全教職員が同じベクトルで取組を推進することができるよう、取組の方向性や重点を明確にする必要がある。

□5つの行動指標を設定し、行動指標に基づく取組の充実

1 そろえる（カリキュラム・マネジメントの定着）

2 見つける（いじめや不登校への対応、子どもの心のケア）

3 徹底する（「主体的・対話的で深い学び」の実現）

4 守る（服務規律の徹底、働き方改革の推進）

5 見せる（家庭や地域社会との相互連携）

□「そろえる」「徹底する」を今年度の重点事項として、各市町教育委員会及び学校が一体となった取組を推進

### (2) 授業改善チェックシートの定着

■教育の質の向上に向け、全教員が日常的な授業改善に取り組むことができるよう、目指す授業像を共有する必要がある。

□目指す子どもの姿及び授業像を明示したチェックシートを日常の授業で活用するよう普及・啓発

□チェックシートに基づき主体的・対話的で深い学びを実現するよう評価規準に基づく指導の推進

□ICT活用に係る項目の新設

### (3) 局独自事業「授業改善プロジェクト」の拡充

■授業力の向上に向け、計画的・継続的な取組を推進することができるよう、市町教育委員会や学校、教育局の連携を一層充実する必要がある。

□プロジェクトの対象の教員経験年数を広げるなど、幅広い年代の教員の授業改善を支援

□「授業改善プロジェクト」の対象教員の拡充に向けた学校教育指導等における働きかけ

### (4) 学校教育指導訪問の充実

■教育の質の向上に向け、学校が主体的に学校課題の解決を図ることができるよう、個々の学校の状況を踏まえた指導助言に努める必要がある。

□計画訪問、要請訪問の役割の明確化及び訪問記録の整備

□全国学力・学習状況調査の調査結果に基づき管内の成果と課題を踏まえた授業改善を促進する研修会の実施

## 2. 具体的な取組

月	(1) 5つの行動指標の設定及び重点化	(2) 授業改善チェックシートの定着	(3) 局独自事業「授業改善プロジェクト」の拡充	(4) 学校教育指導訪問の充実
10			・追加実施に向けた働きかけ	・学力調査の結果を踏まえた研修会
11	・学力向上に関するヒアリング	・授業改善チェックシートを活用した好事例の収集及び周知	↓	↓
12	・組織力強化会議②（12/7） ・チャレンジテスト2学期末問題		↓	
1	・取組状況の確認（アンケート形式）	・取組状況の確認（アンケート形式）	・実施状況の評価（アンケート形式）	・学校教育指導訪問のまとめ（評価）
2				
3	・管内の取組状況の周知	・管内の取組状況の周知	・管内の取組状況の周知	・管内の取組状況の周知

## 3. 取組の評価

(1) 5つの行動指標の設定及び重点化	(2) 授業改善チェックシートの定着	(3) 局独自事業「授業改善プロジェクト」の拡充	(4) 学校教育指導訪問の充実
①「日常の授業において学習指導要領に基づく授業の質の向上を図った」と回答した学校 ・現状 小…97%、中…95% ・目標 小…100%、中…100% ・達成値 ※3月末に評価	①「授業改善チェックシートを活用した日常の授業改善が進んでいる」と回答した学校 ・現状 小…85%、中…83% ・目標 小…100%、中…100% ・達成値 ※3月末に評価	①「次年度も本事業を活用したい」と回答した学校 ・現状 小…65%、中…66% ・目標 小…100%、中…100% ・達成値 ※3月末に評価	①「学校教育指導訪問（要請訪問）が授業改善に効果的であった」と回答した学校 ・現状 小…74%、中…71% ・目標 小…100%、中…100% ・達成値 ※3月末に評価

## 4. 改善点

(1) 5つの行動指標の設定及び重点化	(2) 授業改善チェックシートの定着	(3) 局独自事業「授業改善プロジェクト」の拡充	(4) 学校教育指導訪問の充実
・計画訪問において把握した各学校の取組は、4段階評価で小3.4、中3.3であったことから、要請訪問で継続して行動指標に関する取組の充実を働きかけるとともに、評価に係るアンケートを実施	・計画訪問において把握した各学校の取組状況は、4段階評価で小・中ともに3.1であったことから、授業改善チェックシート活用の好事例の収集と指導資料作成及び周知することに加え、ICTの効果的な活用による児童生徒の学び合いの活性化への働きかけを強化	・2学期以降の本事業の活用に向けて、各市町教育委員会へ働きかけるとともに、対象校の教員が、対象教員の授業参観や協議に参加し、授業改善に向けた視点を共有するなど、実施方法や内容を強化	・指導主事が児童生徒の学力向上に向けて調査結果に基づいた授業改善の視点や具体的方策、教育課程の改善などについて指導助言 ・市町単位で学力調査の結果を踏まえた授業改善に関する研修会の実施